

栄東まちづくり協議会 7 月会議 議事録

日 時 2021 年 7 月 1 日 (木) 18:30~21:00 場 所 中区役所 5 階第一会議室

出席者 田端、宇野、六角 (野田代理)、近藤、小澤、辻本、加藤、村松、大畑、齋藤、大谷、石塚、横井

● 定足数及び議事録署名人の確認

13 人中 13 人の出席で規約第 10 条第 2 項の規定 (在籍会員の過半数の出席) により有効に成立、議事録署名人は加藤さんと大谷さんとする。

議題 :

1. 歩道イルミネーション装飾

会長から歩道イルミネーション装飾を立ち上げた経緯と目的について説明され、事務局が議題である予算流用と整備本数の変更について説明した。予算作成時に簡易なデザインの装飾と少ない整備本数で概算として予算を計上したが、今年度、地域で集約したデザインの希望に基き予定価格を精査した所、予算を大幅に超えるため、予算流用と整備本数の変更を検討頂いた。

まず、この議題を地域で持ち帰り検討するかどうかについて議論され、イルミネーション装飾のデザインについて地域で意見集約された結果を受けて、今回の予算の議題 (予算流用と整備本数の変更) を審議するのは、協議会での会議事項であるという認識が共有された。行政側からは、予算のように協議会で決定する事項と、必要に応じて地域で意見集約する事項があり、今後、様々議論していく中で一定整理していくべき、との発言があった。

- 会議資料の通り、歩道イルミネーション装飾の予算流用と整備本数の変更について全員の賛成で承認された。

(質問、意見及び回答)

- プロポーザルの意味を教えて欲しい。
→金額だけで決めるのが単純入札 (最安値で決定する)、デザインの内容と金額で決定するのがプロポーザル (総合評価入札)。
- 現時点で複数のデザインを見れないのか。
→プロポーザルを始めないとデザインが業者から出てこない。予定価格が低すぎるとプロポーザルに参加する企業が減る、デザイン (案) が減るということが想定される。
- 2017 年度歩道イルミ実績からみると今年度予算が低すぎた点を丁寧に説明すべきだ。

- 300 万円を 800 万円に上げるということに関しては、昨年全体の予算を決める中で(収入の減額もあり)本来 700 万円必要だったイルミ予算を 300 万円としたが、地域で意見集約されたデザインを実現するためには 300 万円では足りず、中止となった夏祭りなどの予算を流用することとした、という経緯をしっかりと共有すべきだ
- 歩道イルミネーションの装飾を今年度新しくすることは地域で共有していたか。
→耐久年数 3 年のイルミ装飾を 4 年使用したので、イルミ装飾を新しくする点は共有している(補足: 2021 年度事業計画に掲載済み)。
- 発展会から協議会の議事内容が公開されていないという問い合わせがある。協議会事項を地域でどのように意見集約するか仕組みが共有されていない。できるだけ地域に情報を共有して欲しい。
- イルミ装飾の制作費用だけでなく、維持管理費や工事費の比較も大事だ。
→維持管理費や工事費も事前に業者から提出頂く。

2. 多文化共生相談事業

中区内の方からの相談を増やす取り組みとして、相談事業の資料を配布する文案と配布先について説明した。

- 会議資料の通り、資料の配布と配布先・配布方法について全員一致で賛成された。資料配布以外に取り組むべきことがあれば地域で意見集約し、協議会に知らせて頂くよう事務局から依頼した。

(質問、意見及び回答)

- 相談者を地域で限定せず、できるだけ多くの相談を受けて欲しい。
→限定はしないが、中区内の方からの相談を増やすことで地域に根付いた事業になる。
- 中区役所 2 階にコンシェルジュがいるので、そのような場で相談資料の配布について協力できると思う。
- 地域団体のホームページにも掲載できると良い。

3. 防犯カメラ運用

事務負担の大きい現行の運用を説明し、改善案について検討した。

- 警察の協力を得て、事務負担が少ない運用を検討することに、全員一致で賛成された。

(質問、意見及び回答)

- 警察に鍵を預けて、警察が自らデータの取り外し等をするにはできないのか。
→生活安全課を窓口で池田交番と連携してデータを取り外して頂く予定である。
- どのような事案でデータ共有しているのか確認して欲しい。事案を共有し、防犯カメラがどう役立っているか知ることで街の防犯力向上になる。
→データ共有した事案を公開して良いか、警察に確認する。新しい運用でも、事前にどのような事案でデータを見るのか協議会に連絡を入れて頂く予定である。

4. 街路灯事業

今年度の整備を進める前に、継続事業として課題がないかどうか、街路灯事業の仕組みを説明した。広告枠の取り扱いやモデルの選定、街路灯整備の場所の検討など意見集約することがたくさんある。今回は仕組みの整理について共有認識ができたので、様々な課題の整理や方向性の確認の検討を今後、継続しておこなう。

(質問、意見及び回答)

- 電気料が値上がりすることが予想される。
- 4丁目街路灯整備の整備モデルを昨年決めたように思うが、もう一度話し合うということが良いか。
→広告掲出率も低く、モデルの選定を含めて今後の整備の方向性を考える必要がある。デザインの統一性について議論を重ねることも重要である。
- 栄東のメイン通りである武平通りや瓦通りは、同じモデルで整備すると良いと思う。
- 行政委員としても、協議会の一つの象徴である事業として街路灯整備は重要だと思う。先の意見の通りモデルの統一は大切だが、一方で広告掲出率の低下や今後の予算の見通しなども踏まえて臨機応変な対応が必要だと思う。昨年、4丁目街路灯整備の整備モデルを決めたと思うが、広告枠後付けモデルでもデザインの統一性は取れるので、広告が決まった際に広告枠をつける方法も良いように思う。

- 4丁目整備モデルを改めて検討することについて地域で話し合いを進める方が良い。
- 初年度に東急ホテル南側の東西通りの街路灯を整備した際に、広告枠を片面ずつの料金で契約したと思い、今の仕組みと違うと思う。今の仕組みがどうなっているか確認して欲しい。
→契約の仕組みを確認します。
- 行政としてコスト面で考えると、できるだけモデルを統一した方が良いように思う。将来的なことも考えてできるだけコストを下げる。整備については、シンボルロード的に整備を進めたり、モデルを統一することは話し合いの中で決まっていくと思う。
- 行政として主に法律的な観点から、街路灯の仕組みの広告料収入（事業収入）について懸念があり、今後の仕組みについて精査をしていきたい。

報告：

1. 池田公園トイレリノベーションの進捗報告

2020年度に作成した設計案について名古屋市と協議を重ねてきた。天井につけるモザイクタイルの安全性を高めるためにアクリル板の設置を含めて、設計案を修正し、2021年度内のリノベーション完成を目指して関係者と調整する。

2. 事務局体制（イメージ）

協議会の指揮命令系統を分かりやすくするために会議資料の通りの役割を説明した。補足として行政委員の役割も説明した。

次回会議は8月5日（木）18時半から開催する。開催場所は別途連絡する。